

質問回答

2019年9月17日

「シエラレオネ国サポーターティブ・スーパービジョン強化アドバイザー業務」

(公示日:2019年9月4日/公示番号:19a00415)について、企画競争説明書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通 番 号	当該頁項目	質問	回答
1	3 ページ目 7(6)3)	現地通貨と円の交換レートに係る記載がありません。ウェブサイト等で算出し得る交換レートを使用してもよろしいでしょうか？あるいは、貴機構でご用意頂けるレートがありますでしょうか？	見積書作成ガイドラインに沿い、JICA 月次統制レート (https://www.jica.go.jp/announce/manual/form/consul_g/rate.html) を使用してください。シエラレオネ通貨はレートが設定されていない国になりますので、「OANDA, the Currency Site」 (https://www1.oanda.com/lang/ja/) における、前月最終営業日付けの買いレート(Interbank rate)を使用します。
2	4 ページ目 8(1)2) 15 ページ目 6 業務の内容	評価対象とする業務従事者の予定人月数が約 10MM となっています。「6. 業務の範囲」内容と比較し、乖離があるのではないかと思料します。約10MM を基準に、業務内容の合理的縮小を検討し提案すべきでしょうか？業務の目標、成果を達成するために必要と考えられる MM を理由とともに提案すべきでしょうか？また後者の場合、「約」の定義が重要になると考えます。「約」が示す内容をご教示頂けますでしょうか？	業務の目標、成果を達成するために必要な内容を、先行の技術協力プロジェクトで培った成果を活かしつつ、10MM を基準に計画をご提案いただくようお願いします。「約」の意図ですが、10MM 前後と考えておりますので、10MM を基準に、小数点以下の増減の範囲でご提案ください。

3	14 ページ目 5(5)	ISSV サイクルにおけるミニプロジェクトに関し「シエラレオネ政府や開発パートナーからの資金を念頭に置き、ミニプロジェクト立案を実施する」とあります。本業務からの資金的な支援は行わず、資金元(パートナー機関)からの支援を得て、ミニプロジェクトが実施されるプロセスへの助言に限定されると理解いたします。間違いないでしょうか？	ご理解のとおりです。
4	要請書(Application Form for Japan's Technical Cooperation) (5) T/C Activities	要請書中に記載されてある活動内容 1-1～1-4 及び 2-1～2-3 と、特記仕様書案(12 ページ目、(4)活動の概要)に記載されてある活動内容とが異なっています。M/M もしくは R/D に記載されている活動内容はどちらに沿ったものになっていますでしょうか？	本件、個別専門家案件で M/M、R/D はありません。要請書の記載を、より具体的に記載した活動概要が特記仕様書の記載となりますので、特記仕様書に記載の活動に沿ってご提案ください。

以上